

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
春、新学期がはじまります。みなさま、こどもたち、いかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動しています。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 ほんとに大丈夫？遺伝子組み換え作物

■ 1 ■ ほんとに大丈夫？遺伝子組み換え作物

2月3日に参加した「種」に関する講演会では、「種子と化学肥料と農薬」をセットにして売り込む工業型農業が広がり、世界の種子市場の7割弱、農薬の8割弱を3つの遺伝子組み換え企業が独占するようになったという話をうかがいました。

遺伝子組み換え技術には、主に2つのパターンがあります。

ひとつは除草剤耐性。除草剤を撒いても枯れないように遺伝子を組み換え、その植物と雑草が入り混じった状態の畑に上から除草剤を撒けば、雑草だけが枯れ、その植物は生き残るため、草取りの手間を省くことができます。

もうひとつは殺虫性。毒素が生成されるように遺伝子を組み換え、虫がその植物を食べたら死ぬため、殺虫剤の散布や虫取りの手間を省くことができます。

それ以外には、例えば花粉症を緩和させる稲や、リコピンの多いトマトなど様々な用途の遺伝子組み換えが実験されていますが、ともかくこのような生物を開発し、種子と化学肥料と農薬をセットで売れば、遺伝子組み換え企業は大変儲かるという仕組みです。

遺伝子組み換え作物には大きく3つの問題点があると考えられます。

1つは、自然界にはない生物が交雑していくことでの環境破壊。2つ目は、種子に対して知的所有権が設定されること。3つ目は、食べることによる健康への影響です。

健康への影響については、遺伝子組み換え作物の普及にともない、不妊症、アレルギー、ガン、自閉症、リーキーガット症候群などの健康被害が報告されるようになってきました。また、遺伝子組み換え植物の栄養価は在来種に比べて劣るといふ調査結果も出ています。

日本では大豆、とうもろこし、菜種、綿など8種類のみ遺伝子組み換え作物の流通が許可されていますが（栽培はされていない）、それらは主に油や添加物などの加工品や、家畜への飼料といった見えにくい用途に使われており、輸入の多い日本人は世界でいちばん遺伝子組み換え食品を食べているとも言われています。

さらに、日本では遺伝子を効率よく操作できる「ゲノム編集」という新たな技術を使った食品の一部について届け出のみで流通可能と決め、早ければ夏にも販売される見通しです。

ゲノム編集は、遺伝子組み換え技術の一種ですが、そのうち外来遺伝子を組み込むのではなく、その生物がもつ特定の遺伝子を切断するだけの場合は「遺伝子組み換えではない」として、流通も栽培も通常の作物と同じようにできるようにしようというのです。そうなる私たちが知らないうちにゲノム編集食品を食べることになりますが、遺伝子を編集した結果他の遺伝子にどう影響するのか、それを食べた結果どのような影響があるのか、まだ未知な部分がありすぎて決して安全とはいえない段階です。

生物の世界は複雑な共生関係で成り立っています。特定の企業が独占したり、人間の都合よく支配したりできるものではありません。私たちはその技術が多様性を守り、調和し、持続可能な方法なのかどうか、もっと謙虚に考えるべきではないでしょうか。

参考：

- ・ コープ自然派 マンガで伝える遺伝子組み換え食品

<https://www.shizenha.ne.jp/coop/view/167/>

- ・ サルでも分かる遺伝子組み換え <http://gmo.luna-organic.org/>

● 来月もお楽しみに♪ ●

メルマガ発信元：きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (奈良市今市町 40-1)
